

雑草の伸び具合が、 新記録を 達成してしまいました。

オオアレチノギク

はザクサ液剤で、しっかり防除!!

強靱な
雑草に!!

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
液剤

要注意!オオアレチノギクは 成長前に早期防除しましょう。

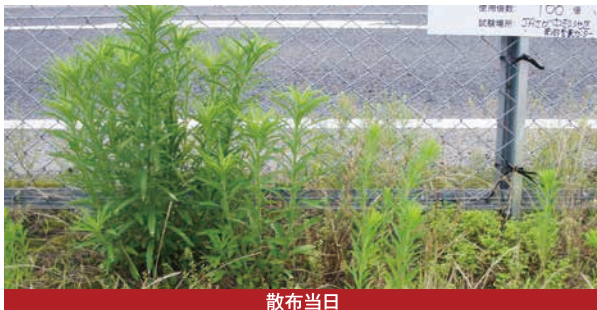
残暑がまだまだ厳しく、暑さのため農作業に苦労されている方も多いのではないのでしょうか。そんな暑さもお構いなしに雑草は日に日に大きくなっています。特にこの時期の問題雑草がオオアレチノギクです。

オオアレチノギクは鉄道線路のわきなどの荒地に生育するキク科の「アレチノギク(荒地野菊)」に似ている大型の雑草なので「オオアレチノギク」と呼ばれるようになりました。在来種の植物を駆逐する可能性があり、外来生物法にて要注意外来生物に指定されています。オオアレチノギクは、大きくなればなるほど除草剤が効きづらくなりますので、早期散布で防除しましょう。

防除の ポイント

- ザクサ液剤100倍液を株全体にしっかりと散布しましょう。
- 草丈が高くない早い時期の散布がより効果的です。

■ オオアレチノギク(ザクサ100倍での除草効果)



散布当日



散布8日後

● オオアレチノギク

キク科の一年生雑草で、南アメリカ原産で日本では1920年に東京都にて初めて野生化が確認され、現在では北海道以南で広く分布しています。道端、畑地、草地、空地など様々な場所に生育しています。種子により繁殖し、秋に芽生えて根出葉(ロゼット)で越冬し、春になると茎を伸張させて、夏から秋には茎の上部に多数の分枝を形成して、1.5~2.0m近くまで成長します。また、葉は両面に短毛が生え、下部の葉には鋸歯がありますが上部の葉は線形です。防除方法は、発芽前には土壌処理除草剤の散布、成長した個体には茎葉処理除草剤を散布し防除します。



家・屋敷まわりの景観を 損なう雑草もしっかり防除!!

家や屋敷まわりに発生している雑草は、景観を損なうのはもちろんのこと、害虫のすみかとなるため庭の花や家庭菜園にも被害をもたらす原因となります。ザクサ液剤は、安全性が高く、耐雨性にも優れる為、家・屋敷まわりの雑草防除にもおすすめです。

素早く枯らし、様々な場所に使用できます。

■ザクサ液剤の除草効果



散布前



散布15日後



散布前



散布12日後



散布21日後



散布27日後

土壌に落ちたザクサ液剤は有効成分が微生物によって分解され、約半日から1日で半減するため、土壌に対し高い安全性を有しています。

散布後の突然の雨でも高い効果を発揮!

■アオビユに対する耐雨性(散布1時間後降雨20mm/hr)



処理時



処理3日後



処理7日後



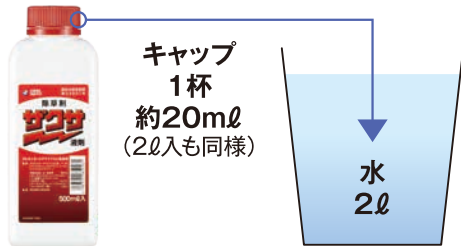
処理10日後

薬剤散布後、1時間程度降雨がなければ、効果に大きな影響はありません。

【試験場所】2008年 北興化学工業(株)社内試験 【処理薬量】ザクサ液剤 500ml/100ℓ/10a

手軽なジョウロ散布で 家周りの雑草も防除!!

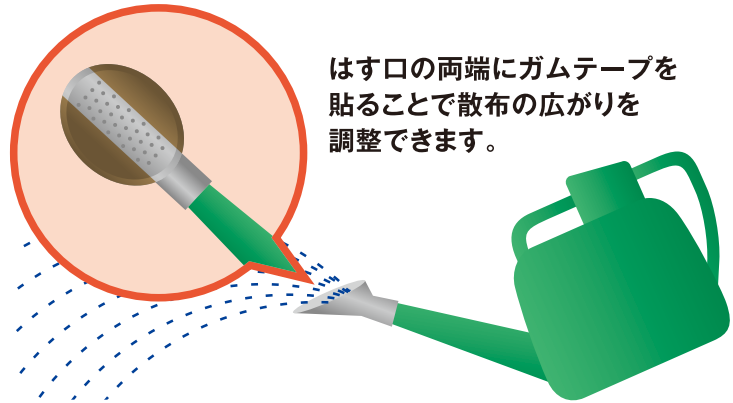
下表を参考の上、所定の薬量を
水に混ぜてください。



■ 100倍液をつくる場合

キャップ	1杯	2杯	3杯	4杯	5杯
水	2ℓ	4ℓ	6ℓ	8ℓ	10ℓ

- 雑草全体が濡れるように、まんべんなく散布してください。
- ジョウロのはす口にガムテープを貼ることで、散布の広がりを抑え、除草したい場所に限定した散布が可能です。



はす口の両端にガムテープを
貼ることで散布の広がりを
調整できます。

大豆の除草にザクサ液剤を使っています!

JAいわて花巻

JAいわて花巻は、岩手県のほぼ中央に位置しており、北上平野や里山に広がる美しく広大な田園を有し、米の生産量は県内生産量のおよそ3割を担っています。また、北上高地の冷涼な気候を活かして栽培されるりんごは、管内の果樹取扱高の約8割を占める主要品目です。さらに大豆・雑穀・麦・花きなど多様な農産物の栽培が行われています。JAいわて花巻は、イーハトーブの大地に根ざした、環境にやさしい農業を目指しています。今回はJA主催の大豆の現地指導会&ザクサ液剤の散布実演会が開催されるとのことで、お邪魔させて頂きました。



大豆生産者のみなさま

取材
協力

花巻農業協同組合

〒025-8504 岩手県花巻市野田335-2
TEL0198-23-333



JAいわて花巻

